



# CIF JAPAN

NEWSLETTER No.39

<http://cif-japan.papnet.jp/>  
cifjapan08@gmail.com

## Council of International Fellowship Japan

発行人 NPO 法人 CIF ジャパン 理事長 坂本正路

編集人 坂岡隆司 発行日 2018年8月1日

事務局 〒607-8216

京都市山科区勸修寺東出町75からしだね館

TEL 075-574-2800 Fax 075-574-0025

## 2018年度総会が開催 されました。

2018年5月19日(土)、東京恵比寿の「救世軍渋谷小隊」(坂本理事長所属)のきれいな会場をお借りして、本年度の通常総会が開催されました。また、総会に先立って、本年度第1回理事会も開催されました。報告、議案については、おおむね総会資料の議案書の通り承認されました。概要は以下の通りです。

- ①2017年度事業報告、決算報告は、原案の通り承認された。
- ②第2回IPEPを無事成功裡に終えることができたことは大きい。
- ③次回のIPEPは、3年後の2020年を予定。
- ④2018年度予算については、支出の項に、ホームページリニューアルに関する費用10万円を追加するとの修正を加えた。
- ⑤役員改選の結果、以下の通りとなった。(全員再任)

理事長	坂本正路
副理事長	梶村慎吾
同	浅野純江
同	坂岡隆司
理事	加納光子
同	三宅浩
同	菅原寂泉 (かんしゃじゃくせん)
監事	冷水豊
同	上利久芳

なお、役員の高齢化や体調不良等による交代の必要性が課題との認識が確認されました。

出席者：坂本正路、梶村慎吾、浅野純江、坂岡隆司、冷水豊、山崎喜久雄、青木雅子 他に、委任状15名

## C I F 日本の 若返り作戦

理事長 坂本 正路

去る5月の総会において、役員の高齢化に対する対策の必要性が提起されました。しかしこれは役員だけの課題ではなく、CIFジャパン全体の課題なのです。今の状態では近い将来、休止ないし停止の状態に陥ることが予想されるのです。

会の健全な存続のためには若い会員が増えなければなりません。その方法は海外の研修に積極的に送りだして、その方たちに会員になっていただくほか、方法はありません。

そのためには私たち会員がCIPないしCIFのプログラムを多くの方に宣伝してゆくことではないでしょうか。CIFジャパンのホームページからCIFインターナショナルへアクセスでき、そこのワールドニュースの最新号の中に2018年・2019年の各国プログラムの一覧表が掲載されています。これは英文ですがこのまま配布されてよいと思います。なぜならこの英文が理解できる方ならプログラムに参加の可能性が高いからです。

会員個々人が職場、後輩、知人、関係団体などあらゆる方法で宣伝してゆきたく思います。そしてCIFジャパンがいつまでも若々しく積極的な活動を続けて行かれるように強く望んでおります。



会場の救世軍渋谷小隊ビル  
(昨年改築されました)  
会場提供に協力頂きました。

# 2017年ギリシャ大会に参加して

青木雅子 (2011.Scotland)



日本における IPEP 開催時期と世界大会が同時期となりましたが、おかげさまで国際大会に出席することができました。

テーマは「META-KINESIS」 A Key Concept for Personal and Global Stabilization. で開催期間は9月18日から23日まででした。私は仕事の都合上、開催当日の9月18日に出国しました。ギリシャのアテネ到着から会場である KALAMATA への国内線の便が先方の航空会社の都合で突然キャンセルされてフライトは翌日に変更となりました。

そんな中で9月20日に大会会場にやっと到着しました。荷物はフロントに預けて直接会場に赴くこととなりました。偶然にも私を覚えて下さった CIF の方がおられて、お陰様でスムーズに会場の「Plenary Session III」に到着しました。午後の World Café でのカンファレンスに、遅刻して着いた私を会場の皆さまは拍手で迎えてくださいました。東洋からやっと到着した会員（参加しようとして来た者）に対するねぎらいのように思えました。率直に感じました事は、一般学会などでは実際の論述と実務面が合わずに現状は論議したことが、なかなか仕事に直結して生かされないことが少なくありません。



しかし、エキスパートとしての CIF 会員のソーシャルワーカーは優れて高い問題解決をしていることと予測できました。クライアントに対して情緒面の安定と信頼関係の構築をしながらのアプローチをしており、このことは今回のテーマである「Stabilization」に表れているとおもいました。沢山の事を収穫して、無事に帰国できました事をご報告いたします。

## Column

2018年6月22、23日の両日、神奈川県相模原市の和泉短期大学で開催された、日本キリスト教社会福祉学会に、CIF ジャパン会員が7名集まりました。短い時間でしたが、顔合わせと打ち合わせの時を持ちました。

参加者（敬称略で失礼します。）：写真前列左より、坂岡隆司、坂本正路、岸川洋治、後列左より、梶村慎吾、山本誠、江口敏一の6名。加えて、秋山智久（途中退席）。計7名。



## 《お便り》 牧田稔氏 (1976、Cleveland) より

CIF のワールドニュース送付ありがとうございます。英語アレルギーの私は喜んで余り読んでいませんが……。多くの皆さまが、社会福祉現場でご活躍のようでうれしく思います。私も含めて動ける人が少ない事務局でご奉仕いただいております。歴代CIP事務局を担ってこられた方々がおられるから何とかこの会は継続されていると感謝しています。私がお世話になったホストファミリーも召天され、CIP参加者の海外の友人もクリスマスカードを交換している人は数名になってしまいました。同年齢ですのて亡くなって連絡が途絶えた方もおられると思います。取り急ぎ一言のお礼まで。

## << 2018年度会費納入ご協力のお願い >>

新年度の会費の納入をお願いいたします。また、過年度の会費が未納の会員各位には併せて納入をお願いいたします。  
(年会費 3000円) 寄付も歓迎します。

郵便振替口座 番号00270-4-54121

加入者名 CIF ジャパン

銀行口座 三井住友銀行 八王子支店  
(店番号843) (普)7815136

口座名義 CIF ジャパン出納責任者梶村慎吾

## 《編集後記》

梅雨明け前の7月初旬、西日本が猛烈な豪雨に襲われ多くの犠牲者、被害が出ました。皆様のところはいかがだったでしょうか？このところの災害は、単なる自然災害とは思えないような問題を多くはらんでいるように思います。投稿お待ちしております。